

今よりもっと旅行することが特別だった100年前、人々は特別な「旅行服」を仕立てて旅支度をしていました。
しかし、旅行が身近なものになり、手軽な既製服が一般化するにつれ
「旅行服」は人々の生活から次第に姿を消していきました。
今から50年くらい前のことです。

今回、そんな「旅」への想いが詰まった旅行服の時代に焦点をあて、
大正期から高度成長期までの代表的な旅のスタイルを子ども服、4種の婦人服の展示とともに振り返ります。

そしてまた、旅行がちょっとだけ特別になってしまった昨今
「こんど旅行をする時は、お気に入りのあの服を着よう！」
展示をご覧いただいた瞬間から、あなたの旅が始まります。

旅への誘い 「レトロ旅行服展」

会期：2021年3月13日（土）～2021年4月11日（日）
※休会日 2021年3月17日（水）

9:00～17:30

場所：新山口駅観光交流センター中2階 交流活動ホール
(山口市小郡令和1丁目2-6)

入場料：無料

展示内容：過去の雑誌資料等を調査し、以下のような旅行服を再現しました。

- ① 大正後期 「煤煙の汚れが目立たない少女のよそ行き」
- ② 大正後期 「高貴な婦人のギャザーブラウスとスカート」
- ③ 昭和初期 「フォーマルでも動きやすいハイキングのツーピース」
- ④ 戦後 「花嫁の清楚なワンピース」
- ⑤ 高度経済成長期 「シャーベットトーンのセットアップ」



本企画は、山口県立大学SLアテンダント活動の一環として実施します。
※SLアテンダントとは、SL「やまぐち」号にイベント日限定で乗務し、
写真撮影などの「おもてなし」を行なっている山口県立大学生の活動です。
今年運転されるDL「やまぐち」号においても活動を予定しているほか、
今後は、このたび制作したレトロ旅行服を着用した車内での「おもてなし」も
計画しています。



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

- 会場入口にアルコール消毒液を設置します。
- 十分に間隔をあけて展示し、会場内は可能な限り一方通行とします。
- 感染拡大状況によっては、会期や開催内容を変更することがあります。
- ご来場の際には、マスクの着用をお願いします。

問い合わせ

山口県立大学3号館5階C536 地域文化創造論研究室
Tel&Fax：083-929-6252
Mail：tsaito@yamaguchi-pu.ac.jp
本展示企画の主担当：柴田あさひ（山口県立大学4年生）

企画：山口県立大学 地域文化創造論研究室
協力：山口線SL運行対策協議会